

処 分 基 準

令和 4 年 3 月 15 日 作成

法 令 名 : 銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項 : 第 9 条 の 1 1 第 2 項
処 分 の 概 要 : 練習用備付け銃に関する措置命令
原権者 (委任先) : 京都府公安委員会
法 令 の 定 め : 銃砲刀剣類所持等取締法第 9 条 の 7 第 3 項 (教習用備付け銃に関する措置命令)、 第 9 条 の 1 1 第 2 項
処 分 基 準 : 当該練習用備付け銃の保管が基準に適合していない場合は、法第 9 条 の 1 2 第 1 項 第 5 号の規定により指定の解除を行う場合を除き、是正に通常必要と認められる期間 を定め、保管の設備又は方法を基準に適合するよう改善すべき旨の命令を行うものと する。 その他危害予防上必要がある場合 (保管基準を遵守してもなお危害発生のおそれがある 場合に限る。) については、管理者が通常受忍すべきと認められる範囲において、 是正に通常必要と認められる期間を定め、危害予防上必要な措置を執るべき旨の 命令を行うものとする。
問 い 合 わ せ 先 : 生活安全部生活安全企画課許可等事務審査室銃砲火薬・危険物係 (電話 075-451-9111 内線3052)
備 考 :